

2025年度 保育所・保育士の自己評価

評価責任者
まつやま大手町保育所
園長 岡田 真由美

「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。
この事を踏まえ、まつやま大手町保育所ではこれに基づき検討し、保育の質の向上を図る為、保育所及び保育士の自己評価を実施しました。
今後はこの結果を踏まえ、次年度の保育計画・保育内容等の改善に活かし、改善していく事で、保育所の専門性・組織力を高め、保護者の皆様や 地域の皆様との信頼関係がより良く深まるよう努めてまいります

2025年度、保育所及び職員の自己評価についてご報告いたします。
園長総評後に保育所自己評価及び保育士自己評価の順に記載しています。職員が1年間を振り返り、評価をする事で新たな課題を見つけ、園の運営や経営に役立てればと考えております。
引き続き、来年度も職員一同、心を1つにして未来ある子ども達のために笑顔あふれる保育に努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【園長総評】

今年度もあとわずかとなりました。子ども達が笑顔で大きな怪我もなく元気で過ごすことができて、日頃の保育所の運用にご理解いただいている保護者の皆様のご理解とご協力があったからこそだと改めて感謝しております。

今年度は、昨年度から地域との交流が続いている済美高校チアリーディング部との交流から、総合学科学生の職場体験を実施し、高校生の学生の皆さんと交流する機会が多くなりました。優しいお姉さん達が大好きな子ども達はとても喜んでいて、この交流は来年以降も継続する事になりました。保育士として一歩踏み出そうとする高校生の皆さんのお手伝いが継続してできるようになった事を、職員一同とても嬉しく思っています。

また、夏祭りでは愛媛大学の先生方の協力をいただいて身近なサイエンス(科学)に触れる機会を設ける事ができ、卒園児・在園児の子ども達や保護者の方にも興味関心を持って喜んでもらえたと感じています。さらに伊予鉄道公共機関の運賃の値上げに伴い、徒歩での散歩やJRを利用した園外保育の機会を多く持ちました。新たに色々な場所へ出かける事ができ、子ども達にとって良い経験となりました。今年の新試みとして、鹿島でのカレー作り体験(2歳児)、JRとジャンボタクシーを利用しての愛媛森林公園へのお別れ遠足(1.2歳児)、2歳児親子で砥部動物園(2歳児)、散歩では、萱町公園(1.2歳児)や清水公園(0.1.2歳児)に初めてお出かけしたりと、日々の遊びや生活を通して、多くの経験ができ、子ども達にとっても良い刺激となり、心身共にこの1年で逞しく成長したのではないのでしょうか。保護者の皆様にも、園の特徴として大変好評いただいている園外での活動ですが、安全面に不安があるという指摘もありました。改めて職員全体で話し合い、今後の対策と危険予測、保育士間での連携、行く場所やねらいとしている内容によって引率する保育士の人数や目的地までのルートの安全を考えていく事、手を繋いで歩く子ども達の体幹等の成長度合いによって保育士と手を繋ぐのか友だち同士で繋ぐのか、体調面やその時の状況等で決めていきたいと思っております。

2025年度前半は、体力がついていない為、風邪等の感染症を罹患し、欠席する子もいましたが、しっかり歩いて体力がついた事もあり、年末年始から年明け以降、猛威を振るったインフルエンザに誰も罹患しない程、元気に過ごせるようになりました。風邪等の症状があっても園を休む事なく過ごす事ができる体力や抵抗力がついてきたと感じた年でもあったように思います。

さて、2025年度の保育士自己評価の総評としましては、職員も新たなメンバーでスタートし、1年を通して連携・協体制でより良い保育を提供すべく、良い関係ができてきていると思っています。中堅保育士メンバーは、昨年に引き続き見通しを持った保育、運動会や発表会で日々の遊びを活かしたものを取り入れる事の難しさや安全面での自身の危険予測の甘さに対しては改善が必要で、自身のスキルを上げていかないといけないと反省しているようです。引き続き、子ども達の成長や今後の成長を見越したかわり方や援助について、保育士間での擦り合わせを行い、提供する保育が同じ方向か考える時間は、共有する人数が増える程、乖離ができますので、乖離が開かないように勉強会の時間をしっかり確保し、継続して行っていきます。

来年度の課題は、職員一人ひとりの保育スキルの精査と必要な実践だと思っています。日々の生活や遊びの中から育つものが行事に繋がる為、いかに遊びを充実させるか、その為には自身の提供する保育がワンパターン化せず、常に新しい事で子ども達の興味関心は何かとアンテナを張り、保育に取り入れてみよう！と挑戦する意欲を来年度の担任には求めていきたいと思っています。

また、園の保育理念にある「豊かな生きる力」を養うために、子ども達にも安全面や危険予測を考慮した上で、チャレンジしよう！という前向きな気持ちと色々な事に挑戦し経験(体感)する機会を持つ事に関しては、都度、説明補足させてもらいますので、保護者の皆様にはご理解・ご協力いただければと思います。

まつやま大手町保育所の自己評価

【評価の基準】

- A 大変良くできている
- B できている
- C 概ねできているが、今後に向けて改善する余地がある
- D できていない、要改善

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
に保 つ育 いて 標	① 保育方針・保育目標は職員間で共通理解を図っている。	○			
	② 保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えている。	○			
	③ 目標は前年度の反省を活かしている。	○			

○評価の根拠●改善策

○保育所保育指針に基づき、全体的な計画・年間指導計画・月案・週案・日案を作成している。
 ○派遣期間終了や身内の介護等で退職する職員が重なったが、2025年度初めには、4名新たな保育士採用ができた。午前中保育士配置に余裕が出た事で、園の特色でもある積極的な園外保育の実施が年齢毎での可能となり、2歳児を中心に多くの場所へ出かけ、色々な体験を持つ事ができた。
 ○午前中の保育士配置が4~6名が可能となった事で「豊かに生きる力」に必要な様々な経験が
 ●主任以外の常勤保育士の勤務年数も5~6年経過した。いつまでも主任主導ではなく、中堅保育士としての意識とスキルになるよう数年スパンで移行できるように考えていく。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保 育 内 容 に つ い て	① 計画指導は乳幼児の実態に配慮して作成している。	○			
	② 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○			
	③ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているか。		○		
	④ 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○		
	⑤ 素材・用具を適切に活用しているか。	○			
	⑥ 園内研修や評価結果を基に保育の改善に努めている。		○		

○評価の根拠●改善策

○様々な体験が持てるよう園外保育の実施や保育環境を整え、子ども達がそこで興味を持ったり、発見したり、夢中になったりする事ができるよう努めた。1年と通して恐竜や車等、「自分の好き」を継続する事ができ、知識として広がった事はとても良かった。
 ○積極的な園外活動を取り入れ、それに伴い、歩く力や体力がしっかりつき、基礎体力の向上が見られインフルエンザ等のひどい感染症になる事もなく、元気で過ごす事ができた。
 ●個々のスキルに差がある為、その乖離がなくなるよう努める。
 ●③④に関しては、準備や配慮・見通しを持ちながら進めているという点については、個々で改善すべき所があるので、指導し改善していく。
 ●主任主導で園内研修を行っていたものを中堅保育士による研修に切り替える。中堅保育士が自分達でしっかり考え、他職員に伝える事で、当園の保育理念に添った保育を改めて考えてもらうように、園長・主任でフォローしていく。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
食 育 に つ い て	① 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践している。	○			
	② 旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしている。	○			
	③ 評価結果を元に食育の改善に努めている。	○			

○評価の根拠●改善策

○2歳児だからこそできる新たな経験として屋外遊技場で栽培し、収穫したミニトマトを使って餃子の皮でピザ作り、鹿島でカレー作り体験を行なった。
 ○昨年同様、遊戯場でできたブルーベリーのジャム作りやバレンタインのチョコ作りの簡単な調理体験、積極的に給食の食材の下処理や買い出しのお買い物体験、季節や献立に合わせてホットプレートや大皿で可愛く盛り付けたり(手作りおやつ)、おでん用鍋での給食提供、園外での芋ほり体験をしたりと子供たちの食への意欲につなげる事ができた。
 ●夏野菜は夏場の暑さで生育が難しかった。来年度は、例年より前倒しで苗を準備し、本格的な暑さになるまでに収穫できるようにしている。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保 育 ・ 行 事 に つ い て	① 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行で良いか。	○			
	② 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。	○			
	③ 行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めている。			○	
	④ 計画・実施・評価・改善の体制をとっている。		○		
	⑤ 保護者の願いや意見を取り入れている。		○		

○評価の根拠●改善策

○定期的な勉強会で随時、各年齢ごとに子供たちの育ちを捉えながらその活動が年齢に見合ったものであるか、適切であるかを精査している。
 ○無理のない活動ができるようにしているか、行事も保育士の思いだけで、子どもの興味・関心から引き出せていない点は反省しなければならぬ。子どもが何に興味・関心があるのか、子どもの声をしっかり聞き、姿をしっかりと見ていく必要がある。
 ○毎年実施している保護者アンケートを基に、保護者からの願いや意見を取り入れている。また、送り迎えの時にも直接話をする等して意見を取り入れて反映させる事ができている。
 ●秋の親子散歩では、一部保護者に不安にさせてしまう内容であった。その後の不安に対する対応が、不十分であった為払拭できず、改めて園内で話し合いを行った。今後の安全面に関しては、都度、保護者にしっかり周知、確認していくようにしていく。
 ●季節時の行事や月1回程度実施している公開保育は、日頃子供たちが楽しんでいる活動から取り入れ、「行事だから」ではなく「日ごろの保育の延長上に行事がある」ことを目指している。年間を通して、園として目指している保育を保護者の方に見てもらえたと思うが、準備不足の為、長期計画で遊び込めるまでには至らなかった点は否めない為、年間スケジュール及びその行事のLDを決め、段取り・調整しやすようにする。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
組織・運営	① 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に携わっているか。		○		
	② 職員間の連携がとれ、報告・連絡・相談等ができ、協働できる体制になっている。		○		
	③ 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		
	④ 職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に持っているか。	○			
	⑤ 打ち合わせ回数・時間・内容は適切か。		○		
	⑥ 年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。		○		
	⑦ 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。			○	
	⑧ 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。			○	
	⑨ 評価・資料(記録)を集積しているか。	○			

○評価の根拠●改善策

○保育士人数が増えた事で、行事や園外保育の内容の幅が増え、臨機応変に対応できるようになった。また、園外保育に出かける先の選択肢が増え、夏祭りやお月見会等の卒園児を呼ぶ大きなイベントも円滑に運用できた。
 ○新しく入った職員が園の運用に理解があり、協力的だった事もあり、各クラスのフォローや夕方保育での担任の事務処理や保育準備時間に充てる事ができた。
 ○園外保育や散歩等、各クラスだけの活動とせず、1歳児の月齢の高い児と2歳児混合でのお出かけや、1歳児の月齢の低い児と0歳児混合での活動等、目的の距離や子ども達の体調、職員の配置人数によって臨機応変に対応できた。
 ○コドモンのアプリでの運用開始となり、おたよりノートやお知らせ掲示等のペーパーレス化や作業時間短縮になり、事務作業負担が軽減され、保育準備や子ども達との関わる時間が増えた。
 ●混合保育、全体の合同保育での活動、季節のイベント等実施の際、保育士の配置や子ども達の危険予測が甘いので、勉強会で再周知を行なう。
 ●定期的な勉強会や月1回の職員会で、職員間の情報共有や保育のすり合わせを行っているが、人数が増えた事で、全員で共有すべきことの漏れが合ったり、園の保育観に関する考え方の乖離が改善されないで、引き続きする合わせをしていく。
 ●中堅保育士にあたる職員の意識と保育スキルの底上げをする事で、全体・チーム保育が円滑にできるようにしていく。
 ●重大とまではいかないが、事故や怪我があった。その後の再発防止対策の徹底と職員の配慮、その事案に対する危機意識が薄れないよう園全体で今後の保育に取り組んでいく。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保健・安全指導	① 危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。		○		
	② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○		
	③ 保育士・調理員が連携し、アレルギー児や提供方法等に対応する環境・体制にあるか。	○			
	④ 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○		
	⑤ 乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		

○評価の根拠●改善策

○アレルギー児2名の食器の個別化を徹底し、除去食メニュー(松山市公立保育所メニューから該当アレルギー食材を除去)を2人以上の確認チェックを行い、誤飲なく安全に提供できた。年度途中でアレルギー児0名に。
 ○保育所HPに「2025年度 安全計画」掲載。交通安全指導・避難訓練の年間計画を基に対策・訓練の実施。
 ○年2回の健康診断(内科・歯科検診は共に6月と12月に実施)、毎月の身体測定を実施。
 ●安全計画はブラッシュアップしたとはいえ、当園に見合った内容の訓練となるよう、さらに見直していく。
 ●散歩時の安全面に懸念があるという保護者の指摘をいただいた。(※再発防止等に関しての詳細の回答は保護者アンケート記載)手を繋ぐメンバー、散歩ルート、目的地に必要な引率する保育士人数を考慮し、保護者にも周知して理解を求めていく。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園内外研究・研修	① 研修・研究は保育目標の具体化につながるものであるか。	○			
	② 所内研修の計画・運営は適切か。	○			
	③ 研究・研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。			○	
	④ 各種研究会・研修会・講習会等への参加体制ができているか。	○			
	⑤ 各種研修会・講習会等での内容を所内に報告・還元しているか。			○	

○評価の根拠●改善策

○引き続き、主任保育士を中心とした園の方針や保育内容について共通理解ができるよう、確認できる研修を隔週で継続して実施。年度後半は、主任以外の常勤保育士が交代で研修を実施していく運用に。
 ○クラス担任以外の保育士が、子ども達の状況や成長する為に必要な保育について、子ども達のフォローをどうすべきか確認できる機会だという意見が多かった。
 ●保育士自己評価での保育に関する自己啓発や自己研鑽の項目が昨年に比べB判定の職員が多かった＝日常保育に活かして反映しているとは言えない。その意識を変えてもらうよう(前向きになるよう)働きかけていく。
 ●職員全体が当園の保育理念を理解し、同じ方向で保育に取り組むめるよう、園長・主任でフォロー・リカバーしていく。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園内情報	① 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○			
	② 公文書收受・発送・処理を適切に行っているか。	○			
	③ 各帳簿は、適切な方法で作成・処理しているか。	○			

○評価の根拠●改善策

○子どもの情報等は、守秘義務とプライバシー保護の観点で、細心の注意を払い取り扱っている。
 ○保育業務として知り得る情報や文書の内容等に関しては、職員会等で全員(参加できないパート保育士は個々に)に周知し、個人情報に関する書類等は鍵付の棚で保管する等の配慮をしている。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
施設・設備	① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			
	② 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。		○		
	③ 掲示板・掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○遊具や玩具の点検(チェックシートの作成)や消毒を行い、整理整頓を定期的実施している。</p> <p>○感染症の流行の進捗状況や保護者へのお願い等の掲示は口頭以外での周知に役立っている。</p> <p>●整理・保管できるよう担当を作り、定期的なチェックができるようにしていく。</p>					
項目	評価内容	評価			
A	B	C	D		
園外交流・情報	① 積極的に地域の文化や生活に触れ、地域との関係が適切に保たれている。	○			
	② 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○			
	③ 事業所職員の保育体験及び保育施設見学会を受け入れる時は、その目的や目的や意義を理解・確認しているか。	○			
	④ 保育所から各種便りを定期的に発信しているか。	○			
	⑤ 保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て資源に関する情報を提供しているか。	○			
	⑥ 医療機関・児童相談所等の専門機関及び提携園について保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○昨年に引き続き、新たな交流として、済美高校総合学科の保育関係の仕事を検討している学生の職場体験の場を提供、夏祭りの手伝い参加等、交流の輪を広げる事ができ、子ども達にとっても貴重な経験をさせてもらう事ができた。</p> <p>○公共機関を使つての園外保育を実施したり、園の特徴でもある積極的な園外活動を多く持った年となった。今年は伊予鉄の公共機関の値上がりにより、JRを利用した園外保育を多く取り入れた。来年度もJRを利用した園外保育を実施していく予定。</p> <p>○CATV本社との合同イベントを実施できた。(七夕の笹飾り作・花の苗植え作業・もちつき・Xmas会でのサンダ&トナカイ役のお願い・もちつき大会参加等)</p> <p>○事業所である愛媛CATVの社員研修の一環に保育所体験(2025年度は3名参加)を行ったり、他企業・学生からの保育所見学会を会社説明会時に見学したり、WEB撮影にて受け入れたりしている。</p> <p>○毎日、ホームページにて園生活を公開し、より多くの人に知ってもらえるように具体的に園での様子を見てもらえるよう、オープンにしている。</p> <p>○松山市・保育幼稚園課からの周知事項や園だより等の各種たよりを定期的に保育所側から発信している。</p> <p>○保護者からの要望があれば、関係機関と連絡し、情報を提供する事ができる。</p>					
項目	評価内容	評価			
A	B	C	D		
評外評価部	① 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○			
	② 苦情解決の体制づくりはできているか。		○		
○評価の根拠●改善策					
<p>○保護者アンケートを実施し、保護者からの意見や要望に関しては、園全体で話し合いを行い、改善の努力をしている。</p> <p>○現場から上がった案件についての社内報告や情報共有のスピード</p> <p>●クラス間(担任)⇒主任・園長への事案の共有・報告がしっかり出来ていなかった。職員全体への情報共有が遅れ、保護者への説明や対応が後手にまわり、安全面で不安に感じてい懸念が払拭できなかった。再発防止策や園の方針を伝え、協力・理解をしてもらえるよう努める。担任⇒主任・園長への報告を速やかにする体制づくりを行う。</p> <p>※当園では第三者評価は導入していません。</p>					

まつやま大手町保育所の保育士自己評価

【回答者】
保育士8名
回答率100

- A おおむね達成できている
B 達成に向けて取り組んでいるが、まだ課題が残る
C できていない

項目	業務内容	評価内容		
		A	B	C
保育について	① 園の保育方針を理解して実践しようと努めている。 ※クラス担任の保育士は園の保育方針を理解して、各年間保育計画・月週案の内容や目標等を立て保育に従事できたか。 ※クラス担任でない保育士はクラス担任(常勤)の保育実践が円滑にできるように努めたか。	5	2	
		/8	/8	/8
	② 子どもの姿を的確に捉え、保育に必要な記録資料などの作成と活用を効果的に行っているか。 ※クラス担任でない保育士は、各クラス担任の上記内容ができるよう、協力できたか。	4	3	1
		/7	/7	/7
	③ 子どもの成長発達について理解と認識を持ち、個々に応じた適切な対応ができているか。	5	3	
		/8	/8	/8
	④ 計画立案に基づいた保育、クラス運営をしているか。 ※クラス担任でない保育士は担任保育士や全体を見てフォローができるよう意識しているか。	5	3	
		/8	/8	/8
	⑤ 日々の反省を活かした計画立案や保育実践がなされているか。 ※クラス担任でない保育士は、毎月の保育反省の提出をしているか。	6	2	
		/8	/8	/8
⑥ 子ども一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持ってかかわっているか。 ※クラス担任でない保育士は担任保育士が上記保育ができるよう情報の共有やフォローができているか。	4	3	1	
	/8	/8	/8	
⑦ 子どもの発達を促すための環境作りやかかわりを心がけているか。	4	4		
	/8	/8	/8	
⑧ 子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境作りや援助を行っているか。	5	3		
	/8	/8	/8	
⑨ 玩具や遊具の安全確認・消毒及び掃除・整理整頓に努めているか。	8			
	/8	/8	/8	
⑩ 子ども達の手本となるような言葉づかいや立ち居振る舞いを心がけているか。	7	1		
	/8	/8	/8	
安全管理	① 保育中の子どもへの配慮(かみつき・危険な行動等)	5	3	
		/8	/8	/8
	② 園外保育における人数確認及び安全確認ができているか。	7	1	
		/8	/8	/8
③ 園児の状態を指針・問診できているか。(表情・怪我・体調等)	6	2		
	/8	/8	/8	
④ 遊具・備品等の及び安全確認・感染対策	7	1		
	/8	/8	/8	
接遇・保護者対応	① 好感の持てる態度で保護者や見学者・乗客等に明るく丁寧な対応ができているか。	7	1	
		/8	/8	/8
	② 保護者等の話をよく聞くなど、コミュニケーションをとり、安心して相談できる関係作りに努力しているか。	5	3	
		/8	/8	/8
③ 保護者に対し、子どもの様子を分かりやすく伝えているか。(おたよりノート記入も含む)	7		1	
	/8	/8	/8	
④ 必要な情報を収集し、自分の実践に活かしているか。	5	3		
	/8	/8	/8	
職務	① 上司や先輩の指導・助言を受け入れ、実践しているか。	5	3	
		/8	/8	/8
	② 組織の規則や手続き、職場のルールを守って職務に取り組んでいるか。	7	1	
		/8	/8	/8
	③ 服装や身だしなみを整え、丁寧に礼儀正しい対応をしているか。	7	1	
		/8	/8	/8
	④ 職員間の必要な連絡・連携・報告はとれているか。	5	3	
		/8	/8	/8
⑤ 与えられた仕事(日常・行事・雑用等)はきちんとできているか(正確さ・提出期限)。	7	1		
	/8	/8	/8	
⑥ 組織の一員である事を自覚し、周りの仕事にも自主的に協力しているか。	5	3		
	/8	/8	/8	
⑦ 自己の体調を管理し、他の職員に迷惑がかからないよう努めているか。	7	1		
	/8	/8	/8	
⑧ 職務上、知り得た情報の守秘義務の遵守し、子どもの人権に留意しているか。	7	1		
	/8	/8	/8	
その他	① 問題意識を持ち、専門書を読んだり情報を収集したりして、自己の保育力の向上に努めているか。	2	5	1
		/8	/8	/8
	② 積極的に研修や講習に参加する等、保育について何らかの自己啓発(自己研鑽)に取り組んでいるか。	3	4	1
	/8	/8	/8	
③ 新しい仕事や困難な仕事にも、失敗を恐れず、前向きに取り組んでいるか。	2	5	1	
	/8	/8	/8	

総合評価(保育士コメント一部抜粋順不同)

・今年度は、昨年度の子ども達の様子をおさえながら保育を行なうように心掛けた。様々な経験ができるよう園外保育の実施や保育環境を整え、子ども達が、そこで興味を「持った利発見したり夢中になったりする事ができるよう努めた。夢中になる事ができるのは、今後の子ども達の成長にとっても大切な事だと思う。だからこそ、色々な活動を提供し、そういった活動の中から子ども達がヒットする内容を拾い上げ、遊びが継続するようにしたり、遊びの中でイメージを広げたり、友達同士の繋がりができたりするよう援助していった。1年を通して、恐竜や車等「自分の好き」を継続でき、知識として広がっていった事はとても良かったと思っている。ただし、公共機関の価格高騰があり、園外での活動も費用がかかる為、活動場所においてについては、これまで主に利用していた伊予鉄道の公共機関からJRをメインとしたものに変更する等、選定をしていきたいと思う。

・4月からまつやま大手町保育所に働くようになり、毎日がとても楽しく充実して、あっという間に1年が経った。園外に出かける機会が多く、子ども達も笑顔いっぱいでも私自身もワクワクし、日々の内容は子どもも保育士も楽しい内容で、周りの先生方の言葉がけや主任の提供している保育の展開と子ども達の反応や成長、一人ひとりに対する接し方等、学びの多い1年だった。

・パートの短時間ですが、自分の仕事(玩具の消毒や掃除、安全確認等、夕方の保育)をこれからもしっかりとやっていきたい。

・運動会や発表会等の行事では、その時だけとってつけたような活動になるのではなく、日頃の遊びを活かしたものにしたいという事を念頭に置いて計画実行していった。そのためだけに教え込むのではなく、日頃の様子そのまま行事に繋がればというのには毎年の思い。その為、日頃の遊びが充実したものであるよう、今後も努めていきたい。

・当園の特徴でもある、園外での活動やそれに伴う地域の人々の関わりについても積極的に行っていった。それにより、子ども達は歩く力が身に付き、基礎体力の向上が見られ、地域のひととのコミュニケーション力もUPしたと感じている。もちろん、安全は第一であるが、安全だからチャレンジをさせないのではなく、安全を確保した上で、園外に出かけチャレンジする！を実践してきた。ただ、その中でも転んだりお友達とぶつかったり等、怪我に繋がる事もあり、保護者の方にはご心配をおかけした事は反省。以後、子ども達の活動予測をよる高めて、安全面には注力していきたいと思う。

・定期的に実施される勉強会が、自分の保育を見直す良い機会となっているので、大変感謝している。

・勤務日数が限られている為、子ども達の日々の活動や課題については、勉強会等で共有しながら理解に努めてきた。また、関わっていない立場(短時間)だからこそその気づける視点もあったと思う。

・保育中の自分の動きに不安やできていない所があると思います。担任をはじめ、他の保育士へ確認をし、全体を見て配慮できるようにしたいと思います。

・個々の子どもの興味関心繋がるような環境を提供するまでに時間がかかってしまったり、そこからの展開や変化に不足があった。遊びこんだモノが行事やイベントに繋げていけるようにしたい。

・勉強会では、現在の保育の中で見直すべき課題の研修であり、実践に繋がる学びを得る事ができた。今年度から学んだ事をどのように現場で活かすかを考え、実践後に結果を振り返る報告書になったので、自身の意識向上にも繋がったと感じている。

・園内研修では、内容について理解が十分でない部分があるので、定期的に自己学習や振り返りを行い、知識の定着と自己研鑽に努めていきたい。

・安全面では、保護者から不安の声もあった。信頼し安心して大切なお子様を預けてもらえるよう、状況に合った活動内容や状況判断、采配段取りができるようにしていきたい。

・子ども達に対して意識して言葉がけを行い、言葉の語彙数が増えるきっかけになればと継続して行ってきた。年明けに言葉の語彙数がぐんと増え、年明けからの子ども達とのかわりでもよく見られるようになった事は良かったと思う。

・今年度の業務を通じて得た事前の準備、情報共有の大切さやチームで子どもを支える事の大切さを学んだ。来年度は保護者の方と共に、子どもの成長を喜び合いながら、明るく楽しいクラスの運営を目指していきたいと思う。

・保育士協力して見守っている体制や、子どもの小さな成長の変化を丁寧に伝えていき、家庭と園で足並みを揃えた支援に努めていきたい。

・日々の遊びの為に手作りしたものや季節の遊びで使ったものが必ず元の所へ片付けられるような環境を心掛けた。

・イベントや行事の日案(計画書)の提出、見本の製作物作製、行事前日の準備を計画的に出来た良いと思う。特に当日の日案は、1か月前に主任へ提出⇒修正を経て完成した日案は当日から1〜2週間で参加する職員に配布されるよう調整して欲しいので、イベントのLD(責任者)はスケジュールを守ってもらいたいと思う。

・1年間通して、まつやま大手町保育所の保育方針に感応しながら楽しく働く事ができました。家庭的な保育を目標にあげても、具体的に細やかな保育は難しいものですが、この園では園長先生が理想の保育を実践されている、とても素敵な保育所だと思っています。

・私が毎日拭いているブロック、車や電車等の玩具を1個ずつで箱に吹き上げ、生活感のある素晴らしい保育所、立地条件(バスや市内電車、郊外電車、JRの4つの公共機関が利用できる駅が近い)を踏まえて、積極的に園外に出かける保育の工夫が素晴らしいです。

・子ども一人ひとりの個性を保育士がしっかりと受け止めてかわる姿を見て、自分自身の接し方を振り返り、助言等いただく事は大変ありがたく、迷っている時には、相談すると的確にアドバイスしてもらっているのですが、